

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	街路事業					
地区名	都市計画道路 <small>よしほまたな お</small> 吉浜棚尾線					
事業箇所	愛知県高浜市本郷町 <small>ほんごう</small> ～高浜市論地町 <small>ろんち</small>					
事業のあらまし	<p>(都) 吉浜棚尾線は、(都) 名古屋碧南線から高浜市の中心市街地を通り碧南市に至る計画道路である。</p> <p>また、当路線は高浜市の都市計画マスタープランにおいて隣接する都市の連携を担う幹線道路として位置づけられている。</p> <p>当地区は、衣浦臨海工業地帯の発展に伴い臨海部周辺の交通量が激増し、活動が大きく阻害されるに至っており、また、当区間周辺には小中学校が立地しているため、連続的な歩道の整備が求められている。</p> <p>このため、早期にこの現状を解消し都市機能の向上を図るため、臨海部周辺の交通円滑化及び交通安全対策の強化を目的として、バイパス整備を実施したものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>① 臨海部周辺の交通円滑化</p> <p>② 交通安全対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費		内訳			
	13.6 億円		□工事費 2.1 億円、□用補費 10.8 億円、□その他 0.7 億円			
事業期間	採択年度	2005 年度	着工年度	2010 年度	完成年度	2014 年度
事業内容	バイパス整備 延長：430m、幅員：20.0m、車線数：2車線					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>① 臨海部周辺の交通円滑化</p> <p>当該事業により、2車線のバイパスが整備され、交通量において3,922台/12hから4,905台/12hと増加しており、周辺の生活道路から交通転換が図れ、臨海部周辺の交通円滑化に寄与した。</p> <p>② 交通安全対策の強化</p> <p>当該事業によりバイパスに3.5mの自転車歩行者道が整備され、歩車分離が図られることで、歩行者及び自転車等の安全性が向上し、交通安全対策の強化に寄与した。</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>当該事業区間の整備により、臨海部周辺の交通円滑化が図られるとともに、交通安全対策の強化がされたことから、事業目標は十分に達成している。</p>				
	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>【達成状況に対する評価】</p>				

Ⅲ 対応方針	
今後の事後評価の必要性	事業目標を達成しており、事業の有効性が認められたので、今後の事後評価の必要性はないものとする。
改善措置の必要性	事業目標に対する効果が発現しており、新たな課題も見られないため、改善措置の必要性はないものとする。
同種事業に反映すべき事項	標準的な事業計画、工法、施工プロセスにより施工されているため、同種事業に反映すべき事項は特になし。

